



80. Love

TOKYO FM

報道各位

PRESS RELEASE
2008年12月4日

TOKYO FM の“Think about AIDS”活動 第3弾 報道番組「バイブル」とNPO「Living Together 計画」がコラボレーション HIV 陽性者や周囲の人の手記を通じてHIV/AIDSを考えるイベントを実施

TOKYO FMで放送中の報道番組「バイブル」（毎週月曜～木曜 16:30～16:55放送 東京ローカル）は、12月16日（火）に、HIV/AIDSについて考えるイベント「ポエトリー・リーディング～Think about AIDS」を実施します。

これは昨年12月から、TOKYO FMとNPO法人ぐれいす東京のプロジェクト「Living Together計画」が共同して実施しているキャンペーン“Think about AIDS”のイベント第3弾となります。TOKYO FM出演者やゲストらによるHIV陽性者とその家族・恋人たちの手記の朗読や、ゲストミュージシャンらのパフォーマンスを通じて、ココロでHIV/AIDSを考えるこのイベントには、毎回、多くの参加者やリスナーから共感が寄せられています。

今回は、イベントMCに「NO MUSIC, NO LIFE」などのコピーワークで有名なクリエイティブディレクター・箭内道彦氏、トークゲストにお笑いコンビ「品川庄司」の品川祐さんや漫画家の内田春菊さんら、そして、ライブゲストに福原美穂さん・童子-Tさん・Saigenjiさんをお迎えする予定です。手記の朗読や、音楽ライブを通じて、HIVと共に生きるということ、“Living Together”を、ココロで考えます。

【イベント「ポエトリー・リーディング ～Think about AIDS」実施概要】

実施日時：12月16日（火）18:30開場/19:00開演
場 所：TOKYO FMホール（千代田区麹町1-7）
出 演 者：[MC] 箭内道彦（TOKYO FM「風とロック」パーソナリティ）
柴田幸子（TOKYO FMアナウンサー）
[トークゲスト] 品川祐（お笑いコンビ「品川庄司」）
内田春菊（漫画家） 他
[ライブゲスト] 福原美穂
童子-T
Saigenji

⇒イベント招待応募受付中（～12月9日（火）24:00まで）
[URL] <http://www.tfm.co.jp/lt>

※この模様は、後日、TOKYO FMの番組で紹介予定です（放送日は未定）。
※イベント終了後、ゲストによる朗読をポッドキャストで配信予定です。

■TOKYO FMの“Think about AIDS”キャンペーン

TOKYO FMでは、2005年より展開している人間の安全性について啓発する“ヒューマンコンシャス～生命（いのち）を愛し、つながる心～”キャンペーンのもと、昨秋より“Think about AIDS”活動をスタートし、様々な活動を企画・実施しています。

そんな中、独自の取材と視点で時代の風・時代の声を探る報道番組「バイブル」では、人の思いが詰まった手紙をきっかけに、HIV/AIDSを考えてみるというNPO法人ぐれいす東京のプロジェクト「Living Together計画」に共感。同番組を軸としたコラボレーション番組およびイベントを昨年12月に実施致しました。

昨年12月に第一弾として実施された同趣旨のイベントには、大貫妙子さんと中嶋朋子さんが参加、また、A Iさん、中孝介さん、フローラン・ダバディさん、ケツメイシ・RYOさんらが番組に事前に出演し、イベ

ントにコメントを寄せました。また、第二弾として今年6月に実施したイベントには、内田恭子さんをはじめとする TOKYO FM 人気パーソナリティらに加え、スペシャルゲストに、リリー・フランキーさんや橋口亮輔監督、佐藤江梨子さんをお迎えしました。これまでの参加者は全員、主旨に賛同した上で、それぞれが選んだ手記を読み上げ、HIV/AIDSについてリスナーや会場の参加者と一緒に考え、想いを共有しました。なお、その模様の一部は、TOKYO FM のポッドキャスト・プレミアムで配信しています。

(TOKYO FMポッドキャスト・プレミアム <http://www.tfm.co.jp/podcasts/premium/>)

■ 「Living Together計画」(NPO法人ぶれいず東京・NPO法人Rainbow Ring)について

HIVを持っている人も、持っていない人も、検査をしていないからまだよくわからないという人も、既にHIVと一緒に生きていることをリアルに感じてもらいたい。「Living Together計画」は、まだ理解が薄い日本で、HIV/AIDSと共に生きている人たちの声を届けるために、顔を見せて本音を語るのが難しい当事者に短い「手紙」を書いてもらい、さまざまな場所で、それを読み伝えています。去年は、厚生労働省や日本エイズ学会が、このプロジェクトを高く評価し、年間を通してのキャンペーンコピーとして“Living Together”が使われました。(URL <http://www.living-together.net/>)

以 上